

海上方面の支日決戦近きか?

支那軍の勝味全然無し 弱兵は砲兵と機械化部隊

外人軍人方面の觀察

(上海廿五日) 外人軍人方面の觀察によると支那軍の弱味は砲兵と機械化部隊にあり、之が来るべき日支決戦に於て勝敗を決する基と見られる。廿四日現在の推定では支那軍は上海杭州間に十二ヶ師を配置しその内五ヶ師約五万は第一線に出動してゐる。上海沿岸の浦東側にある兵力以外約一ヶ師の軍隊が奥地に待機し、上海側の支那軍全線は仏租界以外の境界線から租界線に沿つて蘇州河沿岸より北河南路北停車場に及んでゐる。北停車場より東北にかけて日支兩軍の前線が延びて接近し、虹江路宝興路八字橋方面では兩軍僅かに五百米の近距離で対峙してゐるところもある。

東京電報片々廿五日

日高参事官宮中に参内

日高参事官は廿四日午前宮中に参内、天皇陛下に特許御付けの九事変動案を以て支那の情勢を奏上、種々御下問に奉答した。次いで宮中控室にて湯浅内府、百武待從長と会見、支那の情勢と各國大公使の態度につき詳細説明、意見交換をなした。

近衛首相の西園寺公訪問

日支事変拡大対策方針に關し貴族院各派の全面的な支持力を獲得すべく、近衛首相は、更に西園寺公にも説明政府の決意を説明し、解決を求めべく廿五日午後御殿場に出向した。

貴族院政府を全面的に支持

衆議院第一議員俱樂部では廿五日衆議院議員の結果、日支事変に方針を決定した。

政府の準戦体制に財界呼應

財界では政府のこのようにする準戦体制に全面的に支持し、之は時勢に即して一大変遷運動を展開すべく予てより全国産業聯盟、東京商工會議所、日本経済新報等有力経済団体の首脳は密に協議中であつたが、右の財界有力者は廿五日の銀行俱樂部で財界有志懇談会を開き、種々協議の結果之が方針を決定した。

恤兵義捐金 第二回募集

北支出征軍兵給養金募集切迫引続き申込増加し、あるに鑑み支那有志諸氏の希望に沿ふべく第二回寄附金募集を決定す

▲申込規定は前回は準す ▲又切八月三十一日とす

同胞各位

社団法人在亜日本会
後 接四邦字新聞社

極東貿易調査書 邦訳出版さる

昨年亞國外務省工發行された極東貿易調査委員會の調査報告書、亞國の極東貿易、はこの程中南米輸出組合の手で邦訳出版された。

時局講演会は 末廿八日午後同催

既報、日会主催、花田武官を講師とする時局講演会は末廿八日午後六時半から日会館で開催に決定した。

日会婦人部総会

日会婦人部定期総会は末廿九日午後三時より日会館で開催されるが、当日は役員選挙もある故会員挙げて出席されるべしと幹事は希望してゐる。

ガートル、蹴球倶楽部 安東商店員が組織

安東商店員一同は店主安東氏の後援の下にこの程、ガートル蹴球部を組織した。首將には有富

染洗組合總會

日本染洗組合定期總會は別項廣告の如く末廿九日午後三時より「ゲルマ亭」に於て開催されることになつた。

御案内

日支事変重大化の折衝時局に對する認める爲め今回、花田海軍武官を講師として依り講演会を開催する可く候同何卒多数御來臨願下度此候御案内申上候

日時 八月廿八日午後六時半
場所 日会館
高田の講演は細川通政官或は古川武司書記の西訳があり、ますから先二世諸君の御來臨も歓迎致します

昭和十二年八月廿四日

社団法人在亜日本会

同胞各位

